

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



2014/10/12

▲ 深海にすむはずのリムネンカンカイ、ダイオウイサザやサケガシラといった深海からの珍客が相次ぎで水揚げされている。今年も深海生物の当たり年が予想された。深海のこうした生きものが、なぜ人間目前に姿を現すのだろうか。眺めかたはしる庄屋のほらんどは謎に包まれている。下流にたまたま東海大学海が洋村学博物館の橋を架け、人間との関わりが深まっている。また、深海魚のミズウオを解剖



2014/10/12

▲ 透視度70%です。



2014/10/12

平成26年10月12日(日)晴  
 台風19号がどよめき響き渡るなか、心配であったが中学生仲間と半信ももたらしく状況を調査しました。  
 8月に改修工事が終了したため、川の状況はどうか透視度、COD、BODを調査しました。透視度は65cmと20cm位迄状態は良かった。CODも4位迄よい状態です。魚類もカサガエを含み水生昆虫類はまだ無理ですので一冊は経過を待たないと魚の種類が作れないので残念です。しかし景観は良かったです。

### 海に繋ぐ川のカ



2014/10/12

▲ 非常にきれいな川になりました。水質の悪化を受け止めるのは地球への責任である。地球への責任は生物であり将来にわたって安心安全かつ豊かな水環境を守ることが必要になります。

▲ さすが改修工事後では魚種はいない矢田川上流



2014/10/12

矢田川上流  
 透視度  
 CODが改善された。